

デジタルで"道徳"

第1回

デジタルだからできること

GIGAスクール構想により、各学校でタブレットなどの端末やICT環境の整備が進んでいます。

「道徳」において、デジタル教科書・教材を活用することで、どのような主体的・対話的で深い学びに向かう授業ができるのか、シリーズでお伝えしていきます。

デジタル教科書でできること、デジタル教材でできること

光文書院では、『デジタル教科書』（学習者用）、『デジタル教材 道徳（デジ徳）』（指導者用、学習者用）をご用意しています。

『デジタル教科書』は、紙の教科書をデジタル化（電子ブック化）したものです。紙面の拡大やふりがなの表示、背景色や文字色の変更など、さまざまな児童に対応した表示が可能です。デジタル上で書き込みや消去ができ、書き込んだ内容は保存することができます。

『デジタル教材 道徳（デジ徳）』は、指導や学習に役立つ多彩な機能やコンテンツを、『デジタル教科書』に付加したものです。朗読や動画などのコンテンツを活用したり、児童一人ひとりの考えを提示装置に表示してクラスで共有したりすることで、児童の豊かな学びを実現します。『デジタル教材 道徳（デジ徳）』は、すべての機能が利用できる「指導者用」と、「指導者用」から指導者のための機能を除いた「学習者用」があります。



児童一人ひとりに合わせた表示で、子どもたちの学びを保障
書体変更機能／ふりがな表示／画面拡大／白黒反転表示 など



デジタル教材で子どもたちの学びをサポート！

『デジタル教材 道徳（デジ徳）』には、児童それぞれの思いや考えをクラスで共有するために、2つのツールを用意しています。

1 こころツール

自分の思いや考えを円の割合で表示します。クラス全体を一覧化して表示することもできるので、傾向を見たり、思いや考えの違いをもとに話し合いをしたりすることができます。



▲児童が作成した心情円盤を共有できる。

2 ふせんツール

自分の意見をデジタル上の付箋に書き、クラスで共有することで、主体的に対話的な学びを深めることができます。



▲付箋を使って考えを広げられる。

このほか、教科書巻末の「学びのあしあと」や各教材のワークシートはタブレット・PC上で書き込み、保存することができるため、オンラインでの学習時にも役立ちます。

※次号からは、これらのツールを活用した授業実践事例をご紹介します。

もっと知りたい場合は ➡ <https://www.kobun.co.jp/digital/digi-toku/>